

子どもたちの未来を応援したい—— 株森本が英語教材などを町に寄贈

「株伊予銀行ふるさと応援私募債」の発行を記念して、株森本（森本誌朗代表取締役社長）から内子町への「寄付贈呈式」が7月26日、内子町役場で行われました。

贈呈式では森本社長からプロジェクト・英語教材・寄付金の目録が手

渡され、稲本隆壽町長が感謝状を贈りました。

内子町の地域創生を応援する森本社長は「寄付金は子どもたちの英語教育に役立ててほしい。子どもたちが世界や未来に向かって羽ばたける活動を期待している」と、メッセージを添えました。



姉妹都市の子どもたちが交流 互いのまちの忘れられない夏



お山の学校がたの五右衛門風呂を体験する子どもたち

「宜野座村親善訪問交流事業」が7月下旬～8月上旬に行われ、子どもたちが互いの町村を訪問して交流を深めました。

同事業は旧五十崎町と沖縄県宜野座村が姉妹町村協定を結んだのをきっかけに始まり、2年に1回、行われています。

8月5～8日には宜野座村の訪問団（仲里信男団長他10人）が来町し、豆腐づくりや和紙づくりなどを体験した他、笹踊りにも参加しました。横田夏樹さん（小田中2年）は「いい友だち、いい思い出ができた。大切にしたい」と笑顔でした。



1_緊張感が伝わる立会い 2_土俵際の粘りに、ひときわ大きな歓声が上が

小さな力士たちの熱い一番 夏恒例の「内子町子供相撲大会」

「第14回内子町子供相撲大会」（内子町教育委員会主催）は8月8日、知清河原相撲場で開かれました。町内6つの小学校から96人が出場。制限時間内には勝負が付かず、取り直しになる一番など、両者譲らない力と技のぶつかり合いが繰り広げられました。

団体の部では内子小の連覇を天神小が阻み、6年ぶりの優勝を果たしました。個人戦の優勝者は次のとおりです。

■個人の部優勝者

	男子	女子
1年生	織田 蒼晴 (内子)	中野ここな (天神)
2年生	山岡 夢登 (天神)	大久保はな (五十崎)
3年生	大野 智輝 (天神)	弦田 彩那 (内子)
4年生	高森 一輝 (内子)	高岡幸音羽 (大瀬)
5年生	宮田 晃和 (内子)	河野さくら (天神)
6年生	平井 遥陽 (天神)	明智 千夏 (大瀬)

人間国宝の技に拍手喝采 「第22回内子座文楽公演」

「第22回内子座文楽公演」（同実行委員会主催、源田恒雄実行委員長）が8月25、26の両日、内子座で開かれました。

25日には、西予市出身の人形遣い・吉田和生さんが昨年、重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定されたことを祝して、同実行委員会から山田きよさん製作の記念版画が贈られました。吉田さん

は「文楽を楽しみにしてくれている人たちのおかげ」と感謝を述べました。

今回は三大名作の一つ「菅原伝授手習鑑」より、三段目「茶筌酒の段」や四段目「寺子屋の段」などの演目が公演されました。

吉田さんは三つ子の一人・桜丸を巧みに操り、切腹する場面で観客の涙を誘うなど、迫真の演技で観客を魅了しました。



1 梅王丸と松王丸が取っ組み合いの大げんかをする場面 2 桜丸が切腹し、泣き崩れる妻



5歳の本田ひまりちゃん ピアノの大会で四国の頂点に

「第42回ピティナ・ピアノコンペティション」（財団法人日本ピアノ指導者協会主催）の入賞者記念コンサートが8月18日、東京都で開かれ、本田ひまりちゃん（5）＝立川中央＝が出演しました。

ひまりちゃんは四国本選で1位に輝き、全国大

会での出演権を得ていました。ピアノを始めて2年目の快挙に、母の亜純さんは「ステージを重ねる度に、成長を感じる。吸収力がすごい」と驚きます。ひまりちゃんは「全然緊張しなかった。ピアノ大好き」と満面の笑みで話しました。



愛媛予選、四国本選のトロフィーを手にする本田ひまりちゃん

内子小学校自転車チーム 全国大会6年連続出場&5位入賞

「第53回交通安全全子供自転車全国大会」（財団法人交通安全協会等主催）が8月8日、東京都で開かれ、6年連続で出場した内子小学校自転車チームが団体の部で5位、個人の部で松田愛さんが2位に入賞しました。

同大会は自転車事故の

防止を目的に開催され、今年は都道府県大会を勝ち抜いた47チーム188人が、交通ルールの知識を問う学科や安全走行などの実技で競いました。

指導した山本浩史先生は「子どもたちの無限の可能性を感じた。素晴らしい結果」と称えました。